

下関市立大学広報

2000年6月1日 第31号

発行

下関市立大学広報委員会

山口県下関市大学町2-1-1

TEL 0832(52)0288

FAX 0832(52)8099

http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/

(題字は中山尊名誉教授)



下関市立大学
大学院開学式



▲大学院棟正面

◀正面玄関前で行われた開学式のテープカット

大学院開学式

2000年4月8日、入学式に先立つ午前9時15分より、大学院棟玄関前において、大学院経済学研究科開学式が行われ、大学院担当教員・大学院新入生・後援会役員や市の関係者が出席した。江島市長・下山学長の順で挨拶が述べられ、市長・学長・堀内研究科長・市議会議長代理岩本直人文教厚生委員長の4名がテープカットを行った。その後研究科長が大学院棟内の施設を案内し、棟内の1教室を会場として、教員・院生合同の懇親会も開かれた。

古園井・篠崎両教授の最終講義

古園井昌喜先生と篠崎喜賢先生の最終講義が、1月17日(月)と1月24日(月)に、B棟233教室とA棟131教室にて行われた。講義の終わりに、下関市立大学学会から記念の花束が贈呈された。

古園井先生は、本学で健康・スポーツ科学を担当、22年間教えてこられた。最終講義では、「スポーツを支える価値観」をテーマにお話された。先生は「大正期におけるプロフェッショナル・イデオロギーの萌芽に関する研究」で日本体育学会奨励賞を受賞されておられるが、講義では、とくに、近代スポーツの地域への普及の歴史および現代地域社会との関わりについて熱弁を振られた。

篠崎先生は、数学・統計学・情報関係の科目を担当され、31年間にわたって教えてこられた。最終講義のテーマには「数0と1、無限、対応について」を選ばれた。先生は、数値解析を中心としてご研究されてきたが、講義では、ゼロと1をめぐるさまざまな話題を提供して学生にわかりやすく説かれた。淡々とした語り口で懇切丁寧な講義であった。いずれの講義にも多数の学生、教員が出席して熱心に聞き入り、両先

生とのお別れを惜しんだ。

本年3月で本学を定年退職された両先生の、長きにわたる教育面への多大なご貢献は言うまでもないが、ほかに古園井先生は就職委員長として、篠崎先生は教務部長としてもそれぞれ活躍された。両先生の今後のご健康と一層のご活躍をお祈りしたい。

学友会館及びテニスコートがオープン

待望久しかった学友会館の開館式が、3月25日に市長、下山学長、大屋前学長その他多くの教職員、学生が出席して行われ、外壁を使ったフリースライミングの試登も披露された。

開館式では、新館建設に尽力された大屋前学長、中山名誉教授もテープカットされた。

4月14日には、大学町の市営住宅跡地に造成中であった新テニスコート5面のコート開きが行われた。

新テニスコートは、硬式用3面(1,800㎡)、軟式用2面(1,300㎡)で事業費は3,500万円。授業や課外活動、公式試合等での活用が期待される。



'99 年度卒業式・2000 年度入学式



2000年3月25日、第35回卒業式が挙行政され、経済学科227名、国際商学科217名が巣立った。各種表彰では国際商学科4年伊藤弓子さんから8名に赤馬賞が授与され、準硬式野球部など3団体10名が後援会表彰を受けた。

4月8日には、経済学科282名、国際商学科272名、大学院経済学研究科13名の計567名の新生を迎えて、第39回入学式が挙行政された。また第2回の大学振興賞が、在職中に本学入試の傾斜配点方式導入その他で功績のあった中山尊名誉教授に授与された(なお研究奨励賞は該当者なし)。

(卒業式・入学式における下山学長の式辞(要旨)を以下に掲載しました。)

大学から産業へ

—1999年度卒業式式辞—

英語で卒業のことを commencement という。何が始まるのか。社会的分業の一環に自己が位置することで労働を通ずる他人とのつながりができ、類的存在としての自己が確認できる生活—俗に社会人と言われる生活が始まるのだ。

ただ残念なことに「平成大不況」のもとで就職口が見つからぬまま卒業する人あるいはフリーターの就労を続ける人が存在する。また一応本雇い身分で就職しても、学卒3年後には三分の一が退職するという大状況から本学卒業生が自由ではありえない。学業が終わっても人生の次のステージが始まらない、始まっても挫折のリスクがかなりあるという事実が私の胸は重い。

半世紀余以前の日本では、大学の門が兵營の門につながる形で commencement があった。少数を除けば大学教員は侵略戦争を聖戦と認識していた。その中でも学生を送る教員の胸は青年たちの死を賭けた生活の思ひが重かったに違いない。今日、学園からリストラに吹き荒れる産業界に向かうとする学生を送る教員の気持ちはそれに近いものがあると思う。しっかり自分と世界を見つめながら、激動の産業界を生きぬいてくれ！私はそんな気持ちだ。

私個人は現在の日本の産業、特にそこでの社会関係は徹底改革されねばならないとの熱烈な理念を持っている。大学3年から4年にかけての勉学を殆ど不可能にしている求人の方一つをとってもそうだ。ただ、社会についての自己の改革理念が実現するかどうかは自己を超えた広い世界の集団力学の中で社会法則的に決定されることである。卒業生諸君が産業界で改革に挑戦しようとするれば—是非そうしてほしいのだが—、現実構造の因果法則を科学的に認識して、その法則のどこでまたどういう形で個人の役割が果たせるかを探求することが必要になるだろう。

今この壇上にある大きな日の丸の掲揚は本学の長い伝統である。昨春、私はこの伝統を改革しようとした。なによりも国家からの自由を意味する「学問の自由」(憲法23条は戦前の大学令の自由「国家ニ須要ナル學術」教授や「国家思想ノ涵養」への反省である)の場が大学であり、そこからすれば日の丸であれ何であれ国旗掲揚で大学生活を総括するような形式は取るべきでない。また日の丸についていえば、この旗のもとに隣国で行われた侵略、植民地化の歴史諸相を想起するならば、本学の標榜する国際性からしても日の丸掲揚を取り止めるべきだと考えたのである。そのような深刻な歴史認識無しに日中親善を謳ったりするのは、ハーケンクロイツを掲げ続けながら独逸同盟さらにはE.U.を結成しようとするようなものだ。

しかしこの改革理念は国旗国歌法制化問題と絡んで全国問題化し、下関内外から激励支持だけでなく激しい批判非難を受けることになった。私の理念実現はもはや教授会への報告承認といった程度の教員合意では、また学生からの強い支持無しのままでは、実現不可能と判断された。理念と現実との距離は埋まらないまま今日に至っている。こういう場合に、理念を捨てずに現実との乖離を埋める筋道を探り歩む緊張関係を維持することが大事と私は考える。人生の様々な場面ではそうなのではないか。

よく学びよく遊べ

—2000年度入学式式辞—

入学おめでとう。受験勉強から解放され、またかなりの人は親元から離れて自立し(ただし日本の場合は生活費学費親依存は継続するが…)「さあおいに遊ぼう」とキャンパス生活に期待していると思います。結構です。2度と来ない青春を楽しんで下さい。ただホントの勉強はこれからだということも、きちんと胸においてほしいのです。

受験勉強では、自然、社会、人文についての知見を豊かにすることは勉強の手段であり、目的は点数を1点でも多くとることでした。この因果を逆転させて、対象に関心を持ちそれへの認識が豊かになったので、結果として単位が取れ卒業に至るという道を辿ってほしいのです。しかし残念なことには、知力の水準を入学時のまま変えないで卒業しようとするのかと問いかけてくるような行為が目立ちます。主体的に勉強することを経済学部で実践しようとするれば「演習」の場が非常に大事です。しかしそこで訓練や課題遂行をしんどいと避けて「楽勝科目」の単位をかき集める行為が一例です。就職の面接で「ゼミは？卒論のテーマは？」と訊かれて慌てても間に合いません。極端なのはカンニングです。98年4月の私の学長就任以来4回の定期試験で残念ながら毎回、不正行為が発見され所定の処分を受けた学生が出ました。皆さんの中からはそういう学生が出ないことを期待します。カンニングが成功すれば単位はとれるかもしれませんが。しかし自分の人格の中には何の知的蓄積もされていません。私は、そういう人たちを下関市大生として世に送り出したくありません。

さて、大学生の学問の構造として私が理解するところを述べます。参考にして習得に尽力して下さい。まず教養科目があります。これは、120億年前のビッグバンで生まれたこの宇宙のマクロからミクロに至る自然、そして50億年前に生まれた太陽—地球の発展の中で700万年ほど前に生まれた人類の文化や社会—これらの全てについて過去の人類の認識を自分のものとしさらにそこに自分独自の知見を加えることは到底不可能ですが、およその全体図とその諸処何方所かについての概略認識は可能です。丁度、地球の隅々まで詳しく知らない国、街、村や、海、山、川をやや詳しく知っていることが大事なのと同じです。そのように認識された全体世界の中の経済や経営の相対的位置をわきまえた上で、専門科目を学ぶのです。

経済学は社会科学の他の分野と違って原理論がかなり明確な姿で存在するという利点があります。ただ、それはミクロ、マルクス、マクロという相互に対立もする三つの体系から成っています。またそれぞれの理論は、背景に持つ思想も、従って政策的含意もずいぶん違います。私はこの三つともその骨格構造をきちんとマスターして貰いたいと思っています。その上で、金融、貿易、労働、経済史などなどの応用経済の分野、さらには経営学、商学の分野で、適当な個別分野を選んで研究を進めて下さい。

外国語と情報技術のマスターは、以上の学問認識の獲得と交流に絶対必要かつ有用です。一步一步頑張ってください。

入試状況

2000年度の入試は、例年通りの推薦、特別選抜(帰国子女、社会人、中国引揚者等子女)、留学生、一般選抜(前期日程、公立大学中期日程)に加えて、定員補充のための編入学と新たに大学院入試が実施された。志願者数を昨年度と比較すると、推薦が18人、特別選抜が9人、それぞれわずかながら減少したものの、一般選抜の前期日程が399人、同じく公立大学中期日程が617人、それぞれ大幅に増加した。中でも留学生が46人もの増加となったことは特筆に値しよう。2000年度入学者の出身高校別人数(留学生を除く)は下記の通りである。

2000年度入試状況

		学科(定員)	志願者	受験者	合格者	入学者	実質倍率
一般選抜	前 期 程 度 公立大学 中期日程 (旧CB日程)	経済(50)	661	588	87	77	6.8
		国際商(50)	289	245	85	56	2.9
		経済(127)	1,650	887	310	134	2.9
		国際商(127)	1,547	884	355	140	2.5
推薦入学	全 国 地 域	経済(25)	65	65	26	26	2.5
		国際商(25)	71	71	26	26	2.7
		経済(38)	50	50	39	39	1.3
		国際商(38)	51	51	39	39	1.3
特別選抜	帰国子女、社会人、中国引揚者等子女 外国人留学生	経済(5)	1	1	1	0	—
		国際商(5)	5	4	1	0	—
		経済(若干名)	22	19	11	6	—
		国際商(若干名)	84	80	38	11	—
編入学		経済学科(若干名)	4	4	4	4	1.0
		国際商学科(若干名)	8	8	5	3	1.6
大学院		経済社会システム専攻(5)	10	10	7	7	1.4
		国際ビジネスコミュニケーション専攻(5)	14	13	6	6	2.2

2000年度入学者出身校

(数字は人数、数字のない高校は1人入学)

[北海道]函館ラ・サール[岩手]盛岡第四[栃木]大田原[埼玉]大宮中央[千葉]長生[新潟]巻[富山]泊、富山南[石川]小松明峰、星稜[福井]武生、敦賀、武生東[山梨]白根[長野]飯田[岐阜]長良、中濃西、加茂、斐太[静岡]富士宮北、清水南、静岡東[愛知]五条、三好、豊橋東、成章、小坂井2、小牧南、半田東、愛知、豊川[三重]桑名、四日市西、川越2[滋賀]石山、長浜北、米原2[京都]山城、城南、京都女子[大阪]池田、枚方、清水谷、八尾、富田林、泉陽、鳳、久米田、大塚、浪速、初芝富田林[兵庫]鈴蘭台、明石南、加古川東、小野、北条2、三木5、姫路東3、姫路南、龍野3、上郡、八鹿、相生3、西宮(市立)2、姫路、須磨東、伊丹西、姫路飾西2、北摂三田、滝川2、東洋大学附属姫路[奈良]高田、天理[和歌山]那賀2、耐久2、日高[鳥取]鳥取東、八頭2、由良育英2、米子西2、境[島根]松江北、松江南、大東、三刀屋、出雲3、大社4、浜田2、津和野、松江市立女子、松江東[岡山]岡山朝日3、岡山大安寺2、岡山芳泉4、岡山東商業、倉敷青陵、倉敷天城、倉敷南2、倉敷商業、児島(県立)、玉島商業、笠岡3、西大寺2、井原2、総社4、高梁、瀬戸2、矢掛、勝山、倉敷古城池2、玉野光南、関西2[広島]海田、廿日市、尾道東、尾道北4、三原4、三原東、府中2、大門3、三次、広島商業(市立)、安西、神辺旭、広島女学院、広島県新庄、広島城北、広島工業大学附属広島、近畿大学附属福山2[山口]安下庄、岩国5、岩国商業、光2、下松、徳山、徳山商業、防府3、山口、山口中央2、宇部3、厚狭3、美

祿2、田部2、西市3、豊浦12、長府6、下関南7、下関第一14、下関中央工業4、下関工業2、豊北4、大津3、萩商業2、下関商業11、新南陽、響4、光丘、西京2、華陵、高水、宇部女子、香川2、サビエル、梅光女学院6、早稲3[徳島]城南、鳴門、阿波、脇町2、池田2、城ノ内[香川]三本松、坂出2、丸亀、観音寺第一2、高松第一2、高松西、高松桜井2、三木、香川県大手前高松、香川県藤井3[愛媛]川之江、三島3、新居浜東2、新居浜西、西条3、今治西3、今治北、伯方、松山西2、松山商業、八幡浜、宇和島南3、今治東、今治明徳[高知]高知小津、高知西2[福岡]豊津3、京都6、門司2、大里、小倉南5、小倉商業2、小倉西2、北九州2、戸畑、八幡3、宗像、福岡中央2、城南、筑紫中央、山門、三池2、八女、田川2、嘉穂3、戸畑商業、北筑7、小倉東3、中間、武蔵台2、香住丘、高稜、常磐2、東筑紫学園3、九州国際大学付属2[佐賀]伊万里3、武雄、鹿島、白石2、東松浦、致遠館4[長崎]長崎西、長崎南2、長崎北、佐世保南、佐世保北、佐世保西3、大村、猶興館、北松西、宇久、五島、上五島、杵岐、諫早東、海星、長崎南山3、向陽、長崎日本大学[熊本]第一、第二2、熊本西2、熊本商業、玉名、菊池、阿蘇、八代2、熊本北4、東稜、熊本学園大学付属2、文徳[大分]別府鶴見丘、別府青山2、大分舞鶴2、大分雄城台4、大分鶴崎、大分東、臼杵2、佐伯鶴城4、竹田、日田3、中津南、中津北、大分豊府2、大分東明[宮崎]高鍋、妻、宮崎大宮、宮崎南3、都城泉ヶ丘、都城西2、小林、宮崎北2、宮崎女子、鵬翔2[鹿児島]鶴丸、鹿児島中央2、錦江湾、加世田2、伊集院2、川内3、加治木、鹿屋3、中種子、大島、徳之島、武岡台3、れいめい[沖縄]開邦、向陽

五カ国から外国人留学生

本年度入学の留学生は4年間の学部留学生が17名、1年間の交換留学生が5名(韓国・東義大学校2名、中国・青島大学1名、オーストラリア・グリフィス大学1名、オーストラリア・クィーンズランド大学1名)、同じく1年間滞在の科目等履修生が9名(タイ2名、中国5名、トルコ2名)で、五カ国から合計31名である。なお、二年生15名、三年生7名、四年生8名、大学院生1名をあわせると、本学の外国人留学生は全部で62名となる。写真は交換留学生。



崔 仁淳

チョイ・インスン

東義大学校



馮 秀梅

フォン・シュウメイ

青島大学



Hayley McLaren

ヘイリー・マクラレン

クィーンズランド大学



李 美眞

リ・ミジン

東義大学校



謝 秉翰

シェ・ビンハン

グリフィス大学

大学院新入学生の抱負

オッチャンはアンビシャス?

大学院経済学研究科1年 塩見祐一

ヤッタ! また、青春できる! とワクワクして社会人入学した本学大学院。だからまだ熱の冷めない時期に、そして「五十の手習い」と言われないためにも僕の抱負を書きたいと思います。

僕は31年前横浜市大商学部で社会保障論を少しかじって卒業し、熊大医学部に行って、内科医24年。その間三つ子の魂百までじゃないけれど、頭のどこかに経済学がありました。

しかし昨今の「医療と経済の対立」、どちらもが我こそは Alfred Marshall の言う warm heart だと考え、互いに相手の言い分に耳を貸さない、つまり Communication 不足!

だから僕は大きいコトは言わない、ただ僕の cool head (?) の中だけでも「医療と経済の結合」を試みたい。そしてもし成功したら? 医療側と経済側の通訳を試みたい。(オイオイ、結構デカイ口叩いてるじゃん?)

その方法を学ぶための大学院。イヤイヤ、今までが家伝の独善二刀流だったゆえ、もっと基本からやり直しと思っていますので、どうぞ先生方宜しくご指導ご鞭撻お願い申し上げます。また、今年度僕と一緒に大学院に入学された同志の12人の方々、頑張って、修了の暁には舟木一夫の「仲間たち」を歌おうヨ! 失礼、そんな世代じゃなかったネ!

サテサテ振り返ってみると、来し方の抱負のうちどれも実現したこと皆無! 今度だけは挫折せぬようヤルシカナイ! と思っている僕なのです。

就 職 状 況

平成11年度就職状況

平成11年度就職環境は、依然、厳しい状況が続いている。平成12年3月末現在の就職率は、男子76.7%、女子78.7%、全体で77.5%であった。これは前年実績を、男子で7.8%、女子で3.2%、全体で6.0%下回っている。全国的に就職率が大幅に低下している中、本学の就職先決定状況はかなり善戦したといえる(特に女子は健闘)。なお、大学院進学者は開学した本学大学院2名を含め、8名であった。

平成12年度の就職(採用)環境

平成12年度は、経済不況にやや回復の兆しがみられるが、雇用環境は依然厳しい。採用活動の自由化(採用活動期・内定期・採用方法)は一層進展してきている。就職協定廃止4年目となり、採用活動期が前倒し傾向になっているが、ほぼ企業の採用活動方法は学生に周知徹底されてきており、本学学生も活発に活動中である。特色としては、有能な即戦力を求める傾向が強まり、通年・中途採用を実施する企業が増加したことや、新卒採用を含め企業が人材を選別する目は一層厳しくなっている。また、企業概要をHPに載せるだけでなく、エントリーシートの請求やエントリーそのものをネット上で受けつけるなど、インターネットを採用活動に活用している企業が急増している。

平成12年度就職活動計画

① 4年生個人面談

昨年同様、2月18日から実質3日間、就職委員会の教員が学生(約270名)と個人面談を行い、学生本人の就職希望を聞き、就職アドバイスを実施した。続いて、企業に推薦する学生面接を3～4月にかけて実施した。今年度の4年生は雇用環境の悪化を反映してか、前年度に比べて積極的に活動している学生が多くなった印象を受ける。

② 企業開拓活動

例年より1ヶ月早く1～3月に、就職委員6名が分担して、優良企業約160社を訪問し、求人依頼などの企業開拓を行い、現在も継続中である。

③ 公務員試験・企業筆記試験対策

第一回公務員ガイダンス(国Ⅱ、地方上級対策)は6月中旬に人事院中国事務局から講師を招き実施予定。また、ビデオ(全51巻)による公務員・企業筆記試験対策講座会員を募集中(対象者全学年/5千円)。就職相談室で希望者の受付を行っている。専門講師による教室での講義(全120コマ)は9月より実施予定。両講座とも積極的に参加することを期待している。また、初めての試みとして、教員採用試験対策模試を6月に実施予定。

④ インターネット

今や就職活動に必須のものとなっているインターネット接続PCを就職相談室に3台、学生センター地下電子計算機実習室に20台設置。学生が自由に企業の情報収集、資料請求、セミナー申し込み等に活用できるようにしている。学生個人のメールアドレスは3年生の秋に配布。また、就職相談室のアドレスは、shusyoku@shimonoseki-cu.ac.jp である。

⑤ 各種証明書配布

卒業見込証明書は4月1日より、成績証明書は6月1日より就職相談室で配布。(各人3部まで。それ以上は教務部窓口へ申請のこと。)

⑥ 個別就職相談

個別就職相談日(火、水、金曜日)を設け、就職委員が就職相談室で待機し、相談に応じている。それ以外の日時であっても、教職員が適宜対応している。

平成12年度就職委員会

本年度のメンバーは以下のとおりである。

就 職 委 員 長	川 本 忠 雄 教授
就 職 副 委 員 長	櫻 木 晋 一 教授
就 職 委 員	財 部 忠 夫 教授
就 職 委 員	道 盛 誠 一 教授
就 職 委 員	相 原 信 彦 助教授
就 職 委 員	佐 藤 隆 助教授
就 職 委 員	来見田 隆 英 事務局長
就 職 委 員	村 田 元 宏 事務局次長補佐
就 職 相 談 室 長	永 田 弘 芳
就 職 相 談 室 員	堂 下 邦 江

教員著作目録 (1999年4月～2000年3月)

- 西田雅弘：(共著)小倉貞秀先生喜寿記念論集刊行委員会編『人間観をめぐる諸問題』西日本法規出版、1999、8
 平岡昭利：(編著)『中国・四国一地図で読む百年』古今書院、1999、5
 堀内隆治：(共著)中岡・竹中・熊沢編『大阪社会労働運動史 第8巻』大阪社会運動協会、1999、11
 山田留里子：『漢日定語比較研究』北京大学出版社、1999、11、(共著)『新华字典・汉语拼音版』山西教育出版社、1999、8、(共訳)『南京陥落・平和への祈り(長城万里関・上巻1)』晃洋書房、2000、2、(共著)『ようこそ中国語教室へ』駿河台出版社、2000、3、(共著)『馬老師と学ぶ中国語・改訂版』駿河台出版社、2000、3
 山本興治：(共著)神戸大学経営学研究室編『経営学大辞典 第2版』中央経済社、1999、11、(共著)奥林康司編『現代の企業システム』税務経理協会、2000、1

新任教員挨拶

海に思いを馳せて

小 林 英 治(開発途上国論)



私は海なし県の埼玉・浦和市に生まれ育ったので、海にあこがれておりました。大学を出て国立国会図書館に勤めましたが、その後は幸いにも海に恵まれて来ました。

1968年、当時設立間もなかったアジア開発銀行(略称ADB、本部フィリピン・マニラ)に専門職員として赴任しました。アジア・太平洋地域の開発途上国へ出張し、主として農業やインフラ・プロジェクトへの開発援助の仕事をしました。最後はADBのインドネシア事務所に勤務して、通算26年間熱帯で暮らすことになりました。1994年定年退職して帰国し、教職につくことになりましたが、ここでも高知と岩手という地の利を得て、太平洋の荒波を十分に楽しみました。このたび下関市に参り、瀬戸内海と日本海を目の当たりに出来ることは願ってもない幸せです。「海釣りをするのか」ですか。いいえ、青い海原を見て、その先の世界に思いを馳せるのです。

海洋は古来、人とモノを結びつけ、地球環境を守る重要な役割を担ってきました。わが国はアジアの国々から海を越えてたくさんの人たちを迎え、大陸・海洋の文化が伝えられました。日本文化のルーツとなったこれらの国々や人々を大切にしなければなりません。

国際機関に勤務して学んだことは自己表現の大切さ、すなわち口頭であるいは文書にして自分の意見・主張をはっきり出すということです。21世紀初頭に社会に出る学生諸君に、的確なコミュニケーション技術修得の重要性を訴えてゆきます。私を見かけたら気軽に声をかけてください。

マルクス派の立場から

関野 秀明(経済原論・現代資本主義論)



このたび、九州大学大学院経済学研究科より本学に赴任してまいりました関野秀明と申します。「経済原論」と「現代資本主義論」を担当させていただきます。これまで九州大学では逢坂充教授と福岡久大教授の指導の下、研究生生活を送ってまいりましたが、今後は下山房雄学長を

はじめ、本学の先輩諸先生方の御指導の下に研究、教育、校務に精進し下関市立大学の御役に立ちたいと願っております。

ソビエト、東欧の旧体制崩壊後10年あまりが経過した今日、私が志すマルクス「資本論」を基礎とした「経済原論」や「現代資本主義論」に疑問の声が上がるのは極めてあたりまえなこととあります。しかしながら現在の日本の長期不況、ヨーロッパの高失業、合衆国の新たな貧富の格差拡大といった先進資本主義体制を取り巻く諸困難を直視すると、「資本」と本質的に対立する賃労働者のラディカルな批判的立場に立つことを標榜するが故に、現存制度に束縛されぬ科学性を担保しようとするマルクス派の学説が現代資本主義の批判的検討において必要であると確信しております。

今日の情報化社会の発展がコンピュータのマルチプラットフォームを基礎としているように、今日の経済学発展にも異なる立場の相互作用が必要であると考えております。諸先生方、職員の皆様の御指導をよく聞き、努力していく所存です。よろしくお願い申し上げます。

山口の「いい大学」だから

長 谷 川 廣(人事労務管理演習)



新任の長谷川です。私が本学にまいりました理由は二つあります。一つは、本学が山口県にある大学だったということです。私は前の私立大学(中央大学)に教員として48年間も勤めました。だからもう東京を離れて他の大学へ行くつもりは正直に言ってありませんでした。でも本学から大学院新設に伴うお誘いがあったとき、すぐに山口県ならよし行ってみようという気持ちになったのです。それというのも私が旧岩国町の生まれだったからです。

もう一つの理由は、本学が「いい大学」だと聞かされていたからです。後からわかったことですが、たしかに教育・研究条件は財政的理由からか公立大学のなかではあまりめくまれていない方かもしれません。しかし大学一般の社会的評価となると、本学はやはり「いい大学」だといえると思えます。その「いい大学」をもっと「いい大学」にしたいというのが、私だけでなく、新たに赴任されてきたすべての先生方の気持ちだと思います。いいかえれば、「あの人がきてくれてよかった」、と少しでも思われるように日々努力したいと考えています。そして、本学を去る時には「いい大学にきてほんとうによかった」といえるような、そんな学園生活をひそかに期待しております。よろしく。

歴史と海峡の街に親近感

平 山 也寸志(民法)



この4月に赴任致しました。民法を担当致します。3月までは茨城県の水戸市で生活していました。水戸は観光名所として日本三名園の一つである偕楽園、藩校である弘道館などの歴史的な事跡の多い街です。また、車で20分ほど東へ走ると大洗海岸に行くことができ、海にも近い街です。

下関は歴史の事跡に富む海峡の街であり、下関と水戸には共通点が多くとても親近感を覚えます。

私の現在の研究テーマは代理法の基礎理論です。恵まれた環境の中で腰を据えてこれにじっくり取り組みたいと思います。代理法と関連する現代的なテーマも模索し、そのことについても取り組みたいと思います。

教育面では、学生共々、心の通いあう人間関係を保ち、勉強したいと思えます。

下関の歴史や風土を学び、教員として地域に役立てるよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

満開の桜の下で

李 曉 蓉 (外国語実習)



桜が満開の4月、一衣帯水の友好国・日本にきました。

中日両国の文化交流は悠久の歴史があります。早くは漢の時代から始まり、唐代には両国の友好交流はますます頻繁になりました。日本に中国文化を伝えることについては私も久しく憧れていたところ

です。

日本に来てまず目に映ったのは満開の桜の花でした。私は桜は日本人の団結・向上精神の象徴だと思います。満開の桜のもと、日本文化の精華・茶道を体験して、日本人がいかに伝統文化を大切にしているかを深く感じました。

下関の美しい街並み、清新な空気、素晴らしい環境、温かい人情に接し、異国に来たばかりの私もこの街が大変好きになりました。まだ日本に来たばかりで言葉が通じず、交流にもしばしば困難がありますが、谷口先生・山田先生の協力ですぐ生活に慣れ、内山先生・堀内先生をはじめとする諸先生の心配りにも助けられました。

これから1年間、最大限の努力を払って教育上の任務を果たしながら、青島大学と下関市立大学の両校間の友好交流に貢献したいと思っています。

退任教員挨拶

今後の発展を祈念して

古園井 昌 喜

顧みると、講師として市立大学に赴任したのが、昭和53年4月。本年3月に退職。実に長いようで短い20余年間でした。専門教科が保健体育。1～2年生の健康、体力維持・増進を指導する立場にあり、比較的学諸君とは近い存在であった。当初は、担当者が自分一人しか居らず、必要なスポーツ器具、施設は十分ではなく、一度に60～70人をどうやって指導するか工夫した。ソフトボール全盛時代で、現在のグラウンドで4面をとり、一挙に8チームが同時に試合を開始したこともしばしば。各コートで歓声が上がり、汗まみれになって満腹げに引き上げていく姿に、施設はなくても、学生の意欲に感謝したものである。やがて、現在、健康科学、スポーツ実践を担当している新進の坂元康成氏を迎えることができ、二人三脚で苦楽を共にする。その後、他大学に比肩する教科内容に変貌できた。その一つが、身体教育＝体育を教育という枠組みの中に止めるのではなく、社会との関わりを意識しながら、どうすれば生涯にわたってスポーツを継続できるか模索する。そこに意味を求めたことである。それがスポーツへの真の理解に連なるし、そこには、知的理解と継続的スポーツ実践が必要不可欠である。退職にあたり、パートナーに感謝し、それを支えていただいた学生、教職員の方々に深く感謝の意を表します。

市大を去るにあたって

篠 崎 喜 賢

それまで全く縁のなかった下関に着任して今年の3月無事に定年退職するまで実に長い31年間でした。しかし、退職してほぼ1ヶ月経った現在となってみるとあっという間の出来事のような気がします。着任当時は、大学周辺に商店、住宅

もまばらで大学も定員250名の小規模なものでしたがハード面、ソフト面とも30年間の変貌は本当に目を見張るものがあります。特に今年になって新学友会館の建設、大学院の新設とこれから益々充実した大学に発展して行くでしょう。大いに期待しております。

わたしは、数年前から退職した後の人生の過ごし方について少しずつ考えてきました。自分が大学生であったときも含めて40年近く大学にかかわって来たので定年後は大学と全く無関係な道を歩いて行こうと決心し幸いのように現在過ごせております。これからも当分の間下関を離れる予定はありませんので見かけられたおりに声をかけて下さい。

31年間の長期にわたり教師生活を無事送ることができたのは一重に教職員、学生諸君のお陰で感謝の気持ちで一杯です。ご多幸をお祈りしています。さようなら。ありがとう。

さようなら下関

朱 葆 華

1年の月日はまたたく間に過ぎて行きました。

私は、私の学生と、私に心を配ってお手伝いいただいた日本人の友達に感謝しております。皆さんは私にひとときの楽しくステキな時間をもたらしてくださいました。この1年間の日本での生活は、私にとって美しい思い出として深く心の中に残ることでしょう。この1年間私にとってよりいっそう日本を知ることができ、また沢山の事を学ぶことができました。このことは今後の私の仕事の上で大きな力になると思います。同時に日本人のすばらしい友情にも接することができました。このことは私にとっては生命と同じ位大切なものとなることでしょう。

さようなら 美しい下関 あたたかい日本の友達

さようなら 熱心に勉強をしている下関市立大学の学生達みなさんが青島にいらっしゃる日をお待ちしています。

あなたたちは私の大切なお客さんです。その時は、皆さんにすすがしくのどごしのよい青島ビールをごちそうします。

またまた、山口経済研究所の懸賞論文に本学の学生3名が入賞

下関市立大学広報第30号で下関商工会議所の懸賞論文に本学の学生3名の入賞があったことが紹介されていたが、今度は別の懸賞論文に本学の学生3名が入賞するという快挙を演じた。

山口銀行系のシンクタンクである(財)山口経済研究所は平成11年に設立25周年にあたることから、平成11年に設立25周年記念事業として県内を中心に広く懸賞論文募集を行った。テーマは山口県のまちづくりに関するもので、入賞は最優秀賞1編(賞状及び賞金20万円)、優秀賞2編(賞状及び賞金10万円)、佳作3編(賞状及び賞金3万円)の計6編が予定されていた。一般の部(大学生を含む)に68編の応募があったが、このうち佳作に本学から3名の学生が入賞した。氏名と題目は以下の通り。徳部貴文(現国際商学科4年)「教育からみた地域活性化～地域の活性化は個の改革から～」、松本圭子(経済学科今春卒業)「ふるさと・未来予想図」、藤村なぎさ(現経済学科4年)「もっと楽しい山口に」。

このところ下関商工会議所、山口経済研究所とまちづくりに関する論文募集が続いたが、この沈滞する下関にとって若い学生諸君の発想、提言は貴重である。今後も積極的に発言してもらいたいものである。

教職員異動一覧

新任教職員
(教員)

氏 名	担当科目	前 任	着任年月日
長谷川 廣 教授	人事労務管理演習	中央大学	12.4.1
小林 英治 教授	開発途上国論	富士大学	12.4.1
平山也 志 講師	民法	新 任	12.4.1
関野 秀明 講師	経済原論 現代資本主義論	新 任	12.4.1
李 曉 蓉 常勤嘱託講師	外国語実習	青島大学	12.4.1
ギャビン・D. ハンブリッジ 常勤嘱託講師	外国語実習	グリフィス大学	12.4.1

(職員)

高山 泰典 事務局次長	教育委員会文化課	12.4.1
近藤 保子 主査	保健福祉部ボランティア活動推進室	12.4.1
高田 昭文 主査	保健福祉部高齢福祉課	12.4.1
柳 本文 主査	保健福祉部陽光苑	12.4.1
橋本 浩二 主事	教育委員会文化課	12.4.1
西村 薫 主事補	財政部市民税課	12.4.1
住谷 忠三 嘱託	新 任	12.4.1
永田 弘芳 嘱託	新 任	12.4.1
山口 奈都子 嘱託	新 任	12.4.1

昇任教職員
(教員)

氏 名	職 名	昇任年月日
山 田 留 里 子	助教授	12.4.1

(職員)

重 本 三 朗	係 長	12.4.1
和 田 守 正	主 任	12.4.1

異動教職員
(教員)

氏 名	担当科目	異動先	異動年月日
朱 葆 華 常勤嘱託講師	外国語実習	青島大学	12.3.31
マーク・フリン 常勤嘱託講師	外国語実習	北九州工業 高等専門学校	12.3.31

(職員)

本 間 俊 男 事務局次長	競艇事業局管理課	12.4.1
安 永 正 司 次長補佐	保健福祉部社会福祉課	12.4.1
山 根 義 裕 主 査	総務部小月支所	12.4.1
高 森 俊 明 係 長	総務部総務課	12.4.1
都 留 萬 里 子 主 任	教育委員会考古博物館	12.4.1
領 地 純 子 主 任	保健福祉部介護保険課	12.4.1
三 浦 美 幸 主 事	保健所保健予防課	12.4.1

退職教職員
(教員)

氏 名	退 職 理 由	退職年月日
篠崎 喜賢 教授	定 年	12.3.31
古園 昌喜 教授	定 年	12.3.31

(職員)

岡崎 祥子 嘱託	任期満了	12.3.31
----------	------	---------

図書館からのお知らせ

☆今年度は大学院が夜間開講しますので、平日は21時30分まで開館します。ただし、休業期間は従来どおり17時までの開館とします。土曜・日曜も開館していますのでご利用下さい。平成11年度の図書館利用状況は次ぎのとおりです。

	平 日	土 曜	日 曜
利用者数	272	115	110
(内一般)	7	12	14

(数字は一日平均利用者数)

<開館時間>

平 日 9:00~21:30(ただし、休業期間は17:00まで)
土曜・日曜 9:30~17:00

<休館日>

国民の祝日に関する法律に規定する休日/開学記念日(6月1日)/年末年始(12月25日~翌年1月5日)/館内整理日(毎月1日:1日が休日、土曜、日曜のときは、後日にずれ込み

ます。)

☆図書館では次のサービスをおこなっています。

- ・図書館資料の閲覧/図書館資料のコピー(1枚10円)/図書館資料の貸出し
- ・図書購入のリクエスト
- ・CD-ROM検索及びインターネット用パソコンの利用/図書館資料目録検索用端末機の利用
- ・グループ学習室の利用/AV室の利用
- ・他館所蔵調査の依頼/他館図書借用及び文献複写の依頼(ただし、コピー料、郵送料は自己負担)
- ・他館利用願い作成の依頼

☆図書館では下記のCD-ROMが利用できます。

- ・雑誌記事索引
国内で刊行され、国立国会図書館が収集した雑誌のうち指定する雑誌の記事をデータベース化したもの。
- ・Econlit
経済学の国際的文献(雑誌、本、学位論文等)の記事をデータベース化したもの。
- ・戦後50年朝日新聞見出しデータベース
朝日新聞縮刷版1945上半期から1995年12月号までの巻頭記事索引をデータベース化したもの。

同窓会だより

下関市立大学同窓会は、会員相互の連絡、親睦を含め、市大の発展に資することを目的として下関市立商業短期大学と下関市立大学の卒業生11,358人で組織されています。

現在、同窓会から毎年優れた業績をあげられた教員に対して、大学振興賞と学術奨励賞を出しています。特に平成11年度は、アジア3大学シンポジウムや大学院設置の新聞広告等で母校を支援しました。

今後も、同窓会の活性化を図り、あわせて母校の発展に協力、支援していきます。在校生の皆様も、卒業と同時に会員になります。現在の本部、支部一覧表を下記に掲載しますので活用して下さい。

本 部 会 長 飯田 要(市大1期卒)

0832-52-0288(下関市立大学事務局)

東京支部(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)

支部長 森川良二(市大3期卒)0427-96-4940

中部総支部 支部長 梅谷道明(市大3期卒)052-354-2149

関西支部(大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県)

支部長 井上秀行(市大1期卒)

06-441-1371(ダイビル(株)大場)

和歌山県支部 支部長 坂本喜信(市大2期卒)0736-37-2324

岡山県支部 支部長 前川 淳(市大1期卒)0865-26-0078

広島県支部 支部長 清水賢治(市大1期卒)082-812-2387

鳥根県支部 支部長 杉原信之(市大2期卒)0852-24-6376

山口県支部 支部長 栢谷 學(市大1期卒)

0836-62-1010(麻生)

愛媛県支部 支部長 大西淳介(市大4期卒)0899-84-2742

福岡県支部 支部長 築地正明(市大2期卒)092-512-4566

大分県支部 支部長 清原 宏(市大1期卒)0975-42-4810

熊本県支部 支部長 中村 裕(市大2期卒)096-353-2537

長崎県支部 支部長 鎌田 博(市大2期卒)0957-26-0704

宮崎県支部 支部長 永野良明(市大1期卒)0985-47-6517

鹿児島県支部 支部長 西元宏海(市大1期卒)0992-48-1976

私の教育・研究

加来和典(社会学)

私の研究テーマは、農山村における生活構造を現代日本の社会変動と関連づけながら把握するというものです。と書くとちょっとかたいのですが、実際には、九州や山口の過疎山村をたずねて、家族構成や社会関係を聞いたり、就業構造を聞いたりといった調査を中心にやっています。最近では、大分県の中津江村や山口県の田万川町に行きました。田万川町調査は広島県立大学、山口県立大学との合同調査で、市大のゼミ学生を連れて行きました。昼の調査はそれなりの厳しさがありましたが、夜は宿でたのしく交流をしました。学生は調査を経験すると変わる感じがします。彼等は普段、「世間」に接する機会がないようです。また、農山村というものを知らない学生も多いようです。もっと出かけたいたいのですが、なかなかそうもいきません。

研究は既存統計を利用したものも手掛けています。これまでに、国勢調査を利用して宮崎県における通勤を少し研究しましたが、今後調査を行い、さらに展開したいと思っています。また、1996～8年度に科研重点領域(マイクロデータ)に参加しました。これは官庁が実施している各種統計の利用開放をめざすもので、私が所属していたのはその実証を担当するセクションでした。厚生省の「国民生活基礎調査」の再集計・分析を行い、世帯構造の地域差などについて勉強しました。このような研究成果も地域社会学などの講義に反映させています。

12年度予算

大学の平成12年度予算は、13億357万円で前年度比で5億380万円の減額となりました。

平成11年度は学友会館の建設費を5億508万円計上していたので、これを除くと12年度予算は11年度予算とほぼ同額です。前年度と違った主な内容としては

- ・情報教育推進のためにB講義棟の1教室をパソコン実習室に改造し、インターネット対応のパソコンを導入します。夏休みに工事するので、10月からは教育用インターネットパソコンが132台になります。
- ・学務事務の電算化を進め、各種証明の発行の迅速化等学生サービスの充実・向上を図ります。
- ・大学院設置に伴う諸経費、及び編入学生定員を定めるための諸経費等を計上しています。

なお、業務別内訳は次表のとおりです。

平成11・12年度業務別予算

(単位：千円)

区 分	平成11年度	平成12年度
一 般 管 理 業 務	1,006,760	1,062,385
教 員 研 究 業 務	34,500	38,275
教 務 業 務	74,780	52,136
厚 生 補 導 業 務	4,281	4,376
留 学 生 支 援 業 務	6,670	6,556
北九州・下関体育大会	575	
センター試験業務	6,269	6,352
学外入試試験業務	7,181	6,872
図 書 館 業 務	61,943	52,392
ネットワーク・インターネット	10,758	10,676
産 業 文 化 研 究 所	1,601	1,450
三大学シンポジウム	2,000	
小 計	1,217,318	1,241,470
市 民 大 学 講 座 業 務	996	1,035
関 門 地 域 研 究 業 務	3,000	3,000
学 友 会 館 建 設 業 務	505,080	
大 学 院 設 置 業 務	40,000	
大 学 院 教 務 業 務		5,420
大 学 整 備 推 進 業 務	40,985	52,645
小 計	590,061	62,100
合 計	1,807,379	1,303,570

行事記録 (2000年2月～5月)

- 2月
2日(水)秋学期(後期)試験開始 2/18まで
25日(金)前期日程入試(下関・大阪)
- 3月
7日(火)前期日程入試合格発表
8日(水)中期日程入試(下関・大阪・福岡)
9日(木)前期日程入学手続 3/15まで
22日(水)中期日程・大学院入試合格発表
23日(木)中期日程・特別選抜(中国引揚・留学生)大学院入試合格者入学手続開始 3/27まで
25日(土)卒業式
- 4月
1日(土)春季休業開始 4/7まで
8日(土)入学式
10日(月)春学期(前期)授業開始 健康診断4/13まで
オリエンテーション4/11まで
12日(水)履修相談開始 4/17まで
20日(木)履修届提出締切
- 5月
10日(水)受講確認 5/11
19日(金)留学生歓迎会
24日(水)・30日(火)動く市政教室

平成12年度年間行事予定

(2000年6月～2001年3月)

- 6月
1日(木)開学記念日
23日(金)入試説明会
- 7月
7日(金)春学期(前期)試験時間割発表
15日(土)夏季集中講義開始 7/21まで
16日(日)夏季休業開始 8/31まで
- 8月
8日(火)キャンパス見学会
30日(水)夏季集中講義開始 8/31まで
- 9月
1日(金)春学期(前期)補講 9/5まで
6日(水)春学期(前期)試験開始 9/20まで
下旬 第1回就職ガイダンス
- 10月
3日(火)大学院入試
10日(火)秋学期(後期)授業開始 受講確認 10/17まで
16日(月)大学院入試合格発表
- 11月
3日(金)大学祭 11/2前夜祭 11/5まで
20日(月)推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学入試
27日(月)推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学入試合格発表
下旬 第2回就職ガイダンス
- 12月
25日(月)冬季休業開始 1/7まで
冬季集中講義開始 1/7まで
28日(木)公務納め
- 1月
4日(木)公務はじめ
20日(土)大学入試センター試験 1/21まで
25日(木)秋学期(後期)試験時間割発表
29日(月)特別選抜(中国引揚・留学生)入試
30日(火)秋学期(後期)補講 1/31まで
- 2月
1日(木)秋学期(後期)試験開始 2/15まで
2日(金)特別選抜(中国引揚・留学生)合格発表
25日(日)前期日程入試(下関・大阪)
下旬 第3回就職ガイダンス
- 3月
7日(水)前期日程入試合格発表
8日(木)中期日程入試(下関・大阪・福岡)
9日(金)前期日程入学手続開始 3/15まで
14日(水)大学院入試
22日(木)中期日程・大学院入試合格発表
23日(金)中期日程・特別選抜(中国引揚・留学生)・大学院入学手続開始 3/27まで
25日(日)卒業式